

DATA FILE



単斜晶系

名 前	SELENITE (セレナイト) / 透石膏
化学組成	$\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
色	無色
光 沢	ガラス光沢、真珠光沢
蛍 光	黄色
条 痕	白色
劈 開	完全
断 口	不平坦
硬 度	2
比 重	2.3

透石膏 SELENITE

ト

劈開は一方方向に完全で、ハンマーでたたくと平坦な断口を示す。

メキシコで産出した透石膏の結晶。このように、双晶した結晶形が魚の尾のように見えるものは「フィッシュテイル・セレナイト」と呼ばれる。

ガラスのような光沢や真珠のような光沢を持つ。

石膏のなかでも、無色透明な単一結晶のものを「透石膏」という。

紫外線を照射すると黄色の蛍光を放つことがある。

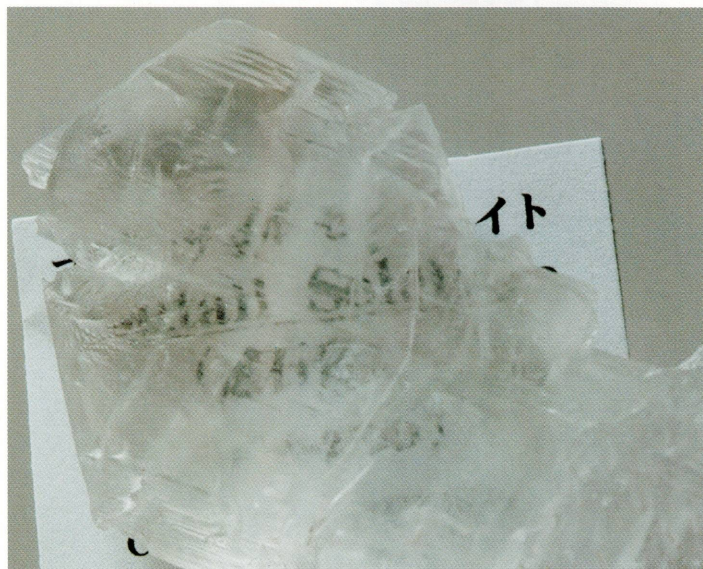
英名の「セレナイト」は、ギリシャ語で「月」を意味する「セレン」から名づけられた。



透明度の高い結晶

透石膏は石膏のタイプのひとつで、無色透明な単一結晶のもの。柱状や板状の結晶であられ、透明度が非常に高いため、かつてヨーロッパでは教会などの板ガラスに利用されていた。なかでもフランスで産出した透石膏の巨大な板状結晶は、清らかな透明感から「聖母マリアのガラス」と呼ばれていたという。一方で、V字型の双晶をしたものは、魚の尾のように見えることから「フィッシュテイル・セレナイト」と呼ばれ、コレクターの間で人気が高い。

ト
透石膏



▲文字などを透かして見ると、透石膏の透明度の高さがよくわかる。

▼カナダのアルバータ州で産出した、透石膏の板状結晶。

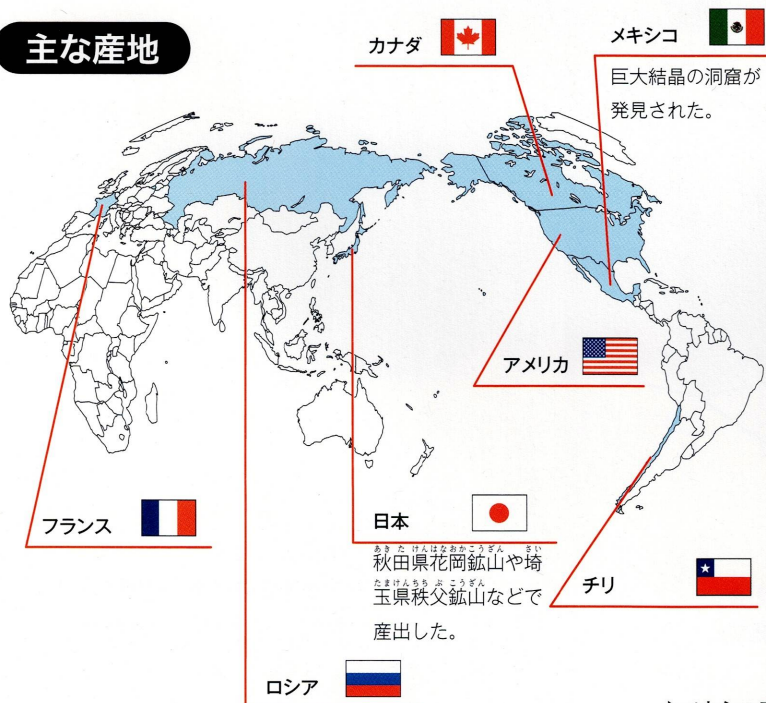


石膏には、透石膏のほかにも「繊維石膏」や「雪花石膏」というタイプが存在。また、花弁状の集合体で「砂漠のバラ」と呼ばれているものは、ミネラルに富む砂漠の湖などで石膏や重晶石が砂を含んで結晶化するとき生成するが、この場合の石膏は透石膏であることが多い。

世界最大の透石膏

2000年に、メキシコのチワワ州にあるナイカ鉱山で、巨大な結晶の洞窟が発見された。地下300メートルに位置する洞窟内は、透石膏の柱状結晶で埋めつくされ、10メートルを超える巨大結晶の存在も報告されている。この洞窟内は、高温で湿度が100パーセント近くあり、結晶が成長するための条件を満たす環境であったと考えられている。

主な産地



▶メキシコ産の透石膏。

